北海道礼文高等学校
令和８年度（2026年度）

２　学校経営シラバス

スクール・ミッション　**校　訓**

中期目標（R7～R9）

本校での学びを生かし、豊かな人間性を備え、国際的な視野を持ちながら様々な地域の課題に挑戦しながら、礼文町や礼文高校の魅力を発信することができる生徒の育成

今年度の重点目標（R8）

令和７年度に策定したスクール・ミッションの捉えを意識することにより、組織的かつ統一観を持たせた教育活動（及び広報活動）を実施し、誇りをもって礼文高校で学んだと主体的に発信することができる生徒を育成する。

スクール・ポリシー　**学校教育目標**

学校教育の重点目標
やる気をおこさせる学習指導
やるべきはやらせる生徒指導
やりがいを求めて挑戦させる進路指導

今年度の指導上の重点事項

学習指導	ア　家庭学習及び基礎的・基本的な知識の定着を図るため、ＩＣＴの活用や習熟度別、少人数指導及び補完的指導の充実を図る。 イ　「主体的・対話的で深い学び」の充実を目指した授業実践に向け、指導方法や指導体制の工夫改善を図る。 ウ　一人一人に対応した学習活動や学習課題に取り組む機会を提供し、情報リテラシーを基盤とした情報活用能力、課題発見・解決能力を育成する。 エ　学習進度・個々の学習目標に応じた指導方法や教材等の工夫改善を図り、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度を育成する。
生徒指導	ア　学校と家庭・地域との連携により規範意識や倫理観を育成する。 イ　授業や学校行事等を通じて人との関わり方について学び、他者を認め、思いやることができる心を育成する。 ウ　いじめの未然防止や情報モラルの向上に努め、互いの良さを見つけて助け合う良好な人間関係の構築を図る。 エ　社会の一員としての自覚を持たせ、何事にも根気強く挑戦する態度を育成する。
進路指導	ア　自己理解を促し、自らの在り方・生き方について深く考えさせ、自立して生きていくために必要な能力や態度を育成する。 イ　キャリア教育の視点に立ち、進路スケジュールを具現化し、主体的に進路を選択する能力を育成する。 ウ　進路に関わる体験学習を通して、望ましい勤労観・職業観を育成する。 エ　各種ガイダンスの有効活用と、新取組（仮称）の活用も含めて３年間を見通した一人一人に丁寧かつ誠実に対応した進路指導の充実を図る。
健康安全・指導	ア　生徒が安心して有意義な高校生活を送れるよう学習環境を整え、健康安全義務及び道徳教育を推進する。 イ　特別支援教育の相互理解及び能力の促進と専門機関との連携を図る。 ウ　日常的な指導や健康面談の実施及び相談体制の充実により、生徒の健康意識を高めさせるとともに、生命尊重の心と態度を育成する。

今年度の運営上の重点事項

施設設備	ア　教育活動を円滑に行うために必要な物品等の整備・更新を進めるとともに、施設・設備を含めた教育環境の充実に努める。 イ　生徒の健康・安全を確保するための施設・設備の維持・管理に努める。
校内組織	ア　働き方改革を進め、情報共有や役割分担と協働により、組織的かつ効率的な学校運営の改善を図る。 イ　いじめ、不登校、特別な配慮や支援といった問題を抱える生徒に対して組織的に対応するための体制の構築に努める。
教職員	ア　主体的な研修等を通じて、互いに研鑽し合いながら熱意をもって教育活動を行うことができる職場環境の構築に努める。 イ　法令遵守、服務規律の保持のほか、教職員自らの規範意識や倫理観の維持向上のため相互牽制が効く職場環境の構築に努める。 ウ　教職員間の良好な雰囲気作りにより、心理的安全性と同僚性が発揮される職場環境の構築に努める。
地域連携	ア　開かれた学校づくりに努め、ホームページやnote、学校だより等により教育活動の成果や進捗状況等を積極的に発信することにより、地域からの信頼を高める。 イ　地域の人材等を積極的に活用し、魅力や特色のある学校づくりを推進する。 ウ　日頃の丁寧で親身な対応等を通じて、ＰＴＡや同窓会、礼文町や関係機関との良好な関係作りに努める。